

健康診査(市民ミニドック)が変わります ～「受診券」が届いてから 健診を受けましょう～

平成20年度から医療制度改革により、健康診査が変わります(下表参照)。市内実施医療機関、健診項目などは、5月の広報でお知らせする予定です。

【問い合わせ】健康支援課特定健診担当 ☎ (3488) 1181

■平成20年度健康診査一覧

| 健診名称 | 特定健康診査 | 健康診査 |
|------|--|--------------------------|
| 対象者 | 40歳から74歳の狛江市国民健康保険加入者 ※狛江市国民健康保険加入者以外の方は、加入している健康保険にお問い合わせください。 | 75歳以上の方 |
| 受診方法 | 対象者は、次のとおり送付する「受診券」を持って、市内実施医療機関で受診します。 | |
| | 誕生月 | 健診期限 |
| | 4・5・6・7月生まれ | 5月下旬送付(予定) 6月から8月末まで(予定) |
| | 8・9・10・11月生まれ | 7月下旬送付(予定) 10月末まで(予定) |
| | 12・1・2・3月生まれ | 9月下旬送付(予定) 12月末まで(予定) |

※「特定健康診査」と「健康診査」の名称は違いますが、健診内容は同じです。

※65歳以上の方は、健診の際、医療機関にある「生活機能チェック」をお受けください(要支援1・2、要介護1～5の方は、「生活機能チェック」の必要はありません)。

市長コラム 127



10月のコラムで紹介した広報1,000号記念の事業「感動のステージ・狛江」が、先月17日にエコーマホールで開かれました。

「感動のステージ」に感動!

現れていると言えるでしょう。

1部は、昨年度大会で金賞を受賞した一中吹奏楽部の堂々たる演奏から始まり、一小児童の琴の合奏が続きました。小さな子どもたちのしつかりした演奏ぶりに、ほぼ満席の観客は感心しきりでした。狛江高校吹奏楽部は、全国レベルの技術の高さで聴衆をひきこみ、最後に同校合唱部も参加しての市歌「水と緑のまち」は、琴による伴奏が大変印象深く、そして大いに盛り上げてくれました。

2部は、狛江で生まれ、あるいは住み、学ぶなど、ゆかりのある魅力が発掘しようと、手弁当でがんばった市民の存在こそ、「狛江の良さ」を一番体感していると言えるでしょう。

この余韻を楽しみたいと、打ち上げにも飛び入り参加して、ちょっとほろ酔い加減で帰宅しました。

狛江市長

天野 亜たか

健康運動セミナー第1期 (5月～7月実施)に参加しませんか

健康診断の結果や日ごろの食生活・運動などの健康状態を伺い、体力測定を行って個人の状態に合わせた運動を指導します。
【会場】あいびあセンター
【対象】40歳以上の市民
※病气やけがなどのリハビリテーション目的の利用や、心疾患、脳血管障害などの病気をした方など、身体の状態によっては参加できない場合があります。
※平成19年度参加の方は申し込みできません。



■健康運動セミナー第1期(5月～7月実施)

| コース | 曜日 | 時間 | 参加費 |
|-----|-------------|----------|--------|
| A | 火・金曜日(全21回) | 午前10時～正午 | 1万円 |
| B | 金曜日(全10回) | 午後1時～3時 | 5,000円 |
| C | 水曜日(全10回) | 午前10時～正午 | |
| D | 水曜日(全10回) | 午後1時～3時 | |
| E | 日曜日(全10回) | 午前10時～正午 | |

※特に体力に自信のない方は、Cコースをお勧めします。
※第2期(8月～10月実施)の募集は、7月です。
※第3期(10月～12月実施)の募集は、9月です。
※第4期(平成21年1月～3月実施)の募集は、12月です。

健康教室に参加してより健康に

生活習慣病の予防や健康の保持・増進のため、健康教室を行っています(予約制)。
詳しくは、今後広報でお知らせします。

▽健康大学こまえ21
【日程】5月～6月、11月～12月(各全8日間)

【内容】医師の講話、運動や食事の実践



▽栄養教室
【日程】7月23日(水)・25日(金)(2日間)

【対象】小学生の親子

▽栄養教室
【日程】8月25日(月)・29日(金)(2日間)

【対象】幼稚園児の親子
【問い合わせ】健康支援課 健康推進係 ☎ (3488) 1181

文化財の指定

市教育委員会では、3月10日に狛江市文化財を2件指定しました。
また、3月26日、東京都指定文化財に「和泉式土器」が指定されました。

■市指定

▽市重宝(建造物) 石井家住宅 主屋、長屋門、土蔵 3棟
【所在地】元和泉1-16-3
【所有者】個人

主屋は18世紀末ごろの建築と推定され、屋根の形は寄棟造で、かやぶきであったものを昭和8年ごろにかわらぶきに改造しています。間取りは六ツ間取りで、桁行は13間あり、江戸時代中期の武蔵野を代表する大規模な主屋といえます。

長屋門は19世紀初めごろの建築と推定され、江戸時代後期の旧状を良くとどめています。

土蔵は文庫蔵で、明治時代初期ごろに建築されたと推定されます。

今回指定した3棟は、今秋に解体され、国営昭和記念公園にもれびの里に移築復元される予定になっています。

なお、石井家住宅は見学できませんのでご注意ください。



石井家長屋門

▽市重宝(考古資料) 弁財天池遺跡1号方形周溝墓出土遺物
【所在地】和泉本町1-1-5
【所有者】狛江市教育委員会

昭和62～63年度に実施した弁財天池遺跡の発掘調査で1号方形周溝墓から出土した遺物のうち、弥生土器3点、槍先形鉄製品1点、鉄釧2点、銅釧6点を一括で指定しました。

1号方形周溝墓は一辺が18mを測り、多摩川流域でも最大級の規模のもので、その副葬品である鉄釧、銅釧からは当時の優れた技術力の一部をうかがうことができ、屈指の指導力を有する集団の存在も想定できます。

狛江をはじめとした多摩川中下流域の終末期弥生文化を考えるうえでも貴重な資料です。

■都指定

▽東京都指定有形文化財(考古資料) 狛江市和泉遺跡出土和泉式土器
【所在地】和泉本町1-1-5、和泉本町1-35-1

【所有者】狛江市教育委員会、東京航空計器株式会社

和泉式土器は、昭和15年に東京航空計器株式会社の敷地内で実施された発掘調査で出土した土器で、古墳時代中期に関東地方で作られた土師器の特徴を示す資料として、初めて発見された地名をとって「和泉式土器」と名付けられたものです。

【問い合わせ】社会教育課文化財担当